

令和2年度第12回運営委員会 議事録

- 日時：令和3年3月22日（月）10：00～12：00
- 手法：Zoom リモート会議
- 参加：鈴木勝行、大熊勝、宮崎弘子、木内勝司、渡邊勇、佐藤英人、川島秀男、浅井敬三
廣川千恵子、山本実穂
- オブザーバー：山本悦男
- 議長：鈴木勝行
- 書記：山本実穂
- 資料：議事次第、浅間堰魚道補修作業の経緯

■議題

1. 浅間堰補修活動について

- ・魚道の補修事業は2月23～24日に補修、3月16日に生コン固定用の板の取外しを実施した。
一部コンクリートブロックの角を削り遡上し易くした。（活動従事者：鈴木、浅井、山本悦男、実穂）
- ・現在遡上障害になっている土砂吐けに掛かっている流木は、水量が多いため取り外せなかったため、
堰板を入れる5月15日前に、水量状況を見ながら実施予定。
- ・土嚢の投入による土砂吐け下流のプールの落差解消も今後実施していきたい。

2. 2021年度の遡上調査について

- 1) 標識作業予定：都幾川2回、入間川1回
- 2) 第一回目の標識作業：矢来堰下(都幾川)

- ・昨年同様に、秋ヶ瀬堰の本格遡上前の捕獲アユを提供してもらい標識作業を行う。
作業も昨年同様に少人数での実施予定。稚アユ運搬は金澤氏。

・標識作業の準備

完成した矢来堰魚道見学と作業場所を確認する。

3月25日(木)10:30、都幾川右岸の関越自動車道下に集合（参加予定者：鈴木、浅井、木内、山本）
見学後に高坂倉庫で使用資材の搬出積込み(山本車)

同時に菅間堰調査用の資材(四つ手網等)も搬出積込み、菅間堰へ配置予定(浅井車)

- 3) 4月1日から菅間堰下流での魚類相調査を金澤氏が実施予定。

3. 2021年度の助成金について

- ・サイサン環境保全基金から助成決定通知が来た。（金額は14万円ほど減額されて516,528円）
報告書の減額対応として、大熊理事の紹介先で次回分の印刷見積もりを取ってみる。
- ・武州・入間川プロジェクトに申請、受領の連絡があった。

4. 2021年度の一斉水質調査について

- 1) 6月6日に実施予定。（全国実行委員会）
- 2) 当会の調査協力団体について

- ・高麗川ふるさとの会は調査地点を減らして参加予定である。

高麗川で欠けた調査地点については、城西大学高麗川かわガール(真野氏)に依頼する(大熊)

- ・吉村氏分の調整(大熊)
 - ・秩父源流方面は、当会で実施を検討する。
5. 令和3年度定時総会について
 - ・5月23日(日)コロナ感染症が終息しなければZoomリモートで開催する。
 - ・次回理事会開催までに、議案書(事業部分)作成する(鈴木)
 6. 加入保険の見直しについて
 - ・イベント開催が出来ない状況にて、現在加入の保険の更新をキャンセルする。(宮崎)
 - ・新たに、当会理事及び作業従事者へのボランティア活動保険(社会福祉協議会)を検討する。
 7. 今後の魚道の管理について
 - 河川においての魚類の遡上環境(魚道等)の管理責任が曖昧になっている状況を解消すべく検討する。

●次回(理事会): 令和3年4月19日(月) 14:00～、Zoomリモート会議